北方領土関連資料をご紹介します

語り継ぐ、北の記憶

戦前から今にわたるまで

北方領土の貴重な資料を

未来へ継承していきます

北方領土の元島民等から寄贈いただいた貴重な資料・写真を展示しています。（寄贈者の皆さまに心より御礼申し上げます。）

択捉島の風景

年萌ヤンケトー

【地域情報】択捉島 留別村年萌　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「年萌ヤンケトー」と記載あり。
ヤンケトー（ヤンケトウ）：地名。陸に上がった沼という意味。

入里節付近から望む単冠山

【地域情報】択捉島 留別村　【作成・発行時期】1940年9月3日

写真裏面手書きにて「択捉 留別村 問保～入節中間より望む単冠山　右 単冠山（1588m）左 西単冠山（1639m）1566 S.15.9.3」等の記載あり。

留別村東海岸十五夜萌より南東を望む

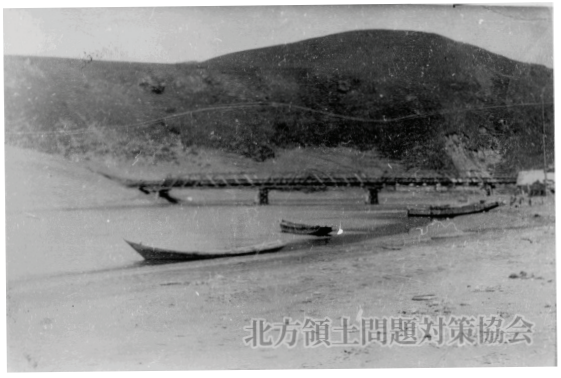
【地域情報】択捉島 留別村　【作成・発行時期】1940年9月4日

写真裏面手書きにて「択捉島留別村東海岸 十五夜萌附近より南東を望む S15.9.4」等の記載あり。
留別村東海岸十五夜萌の石の多い浜から湾に向かって撮影され、丘陵のふもとに4件の作業場と見られる大きな建物がある。

留別村遠景

【地域情報】択捉島 留別村　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「留別村」と記載あり。



留別川

【地域情報】択捉島 留別村　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「留別川と留別橋」と記載あり。

択捉島の漁業

鯨の解体

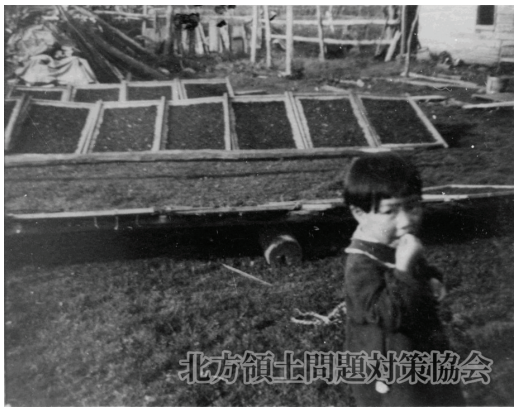
【地域情報】択捉島　薬取村　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「鮎川捕鯨 薬取の漁港に於ける鯨の解体」と記載あり。

鱈干し風景

【地域情報】択捉島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

鱈とみられる開いた魚を大量に天日干ししている。12名が写っており、中には授乳中の女性や作業を手伝っている様子の若い女性の姿も見られる。



天日干しされる海苔と少女

【地域情報】択捉島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

おかっぱの5歳前後の女児が、海藻を干す網が並べてある前で振り返っている姿。奥には木製の柵あるいは干し場があることが分かる。

水辺にて漁をする人々

【地域情報】択捉島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

留別川と推定。4艘の小舟と12名の男性の姿があり、仕切りで二つに分かれた生け簀を前に2名の男性が作業をして、川面一面に魚が跳ねている様子がみられる。

孵化場内作業場での検卵作業風景

【地域情報】択捉島　留別と推定　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

孵化場内作業場での検卵を行う人々。

国後島の風景

東沸市街

【地域情報】国後島 泊村東沸　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「くなしり 泊村 東沸」と記載あり。

乳呑路港から市街地を眺める

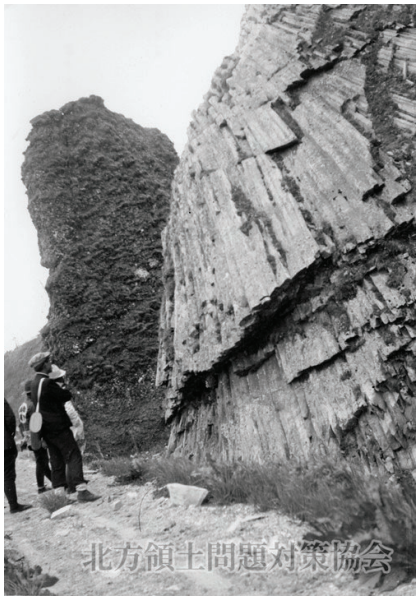
【地域情報】国後島　【作成・発行時期】昭和初期

乳呑路港から見た海岸沿いの家々や市街地の様子。奥に爺々岳がうっすらと見える。

爺々岳の全景

【地域情報】国後島　【作成・発行時期】昭和初期

乳呑路役場周辺から見た爺々岳（1822m）の全景。手前中央左に公会堂、右に禅寺が見える。



材木岩

【地域情報】国後島 留夜別村　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

国後島の名所にあたる「材木岩」を写したものと推測される。
なお、材木岩とは溶岩が冷え固まってできた規則的な形状の岩魂で、材木のように見えることから名付けられた。

国後島の漁業

ホタテの貝殻を海に捨てる女性

【地域情報】国後島 泊村（とまり）　【作成・発行時期】1933年頃

写真裏面手書きにて「国後島泊村近付内のホタテ漁 トロッコで貝殻を海に捨てる」等の記載あり。

ホタテの貝殻の山を背にした男性達

【地域情報】国後島　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「くなしり ホタテの貝殻山」と記載あり。

昆布干し風景

【地域情報】国後島 中ノ古丹（なかのこたん）　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「国後島 昆布干場」と記載あり。

色丹島の風景・生活

穴澗湾付近

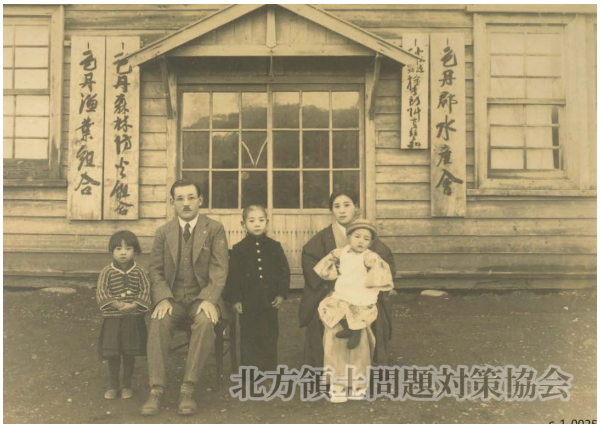
【地域情報】色丹島 斜古丹村　【作成・発行時期】1940年6月7日

写真裏面手書きにて「斜古丹村 アナマ湾入口附近と推定 昭15.6.7 撮映」等の記載あり。

建物前にて集合写真

【地域情報】色丹島　【作成・発行時期】1935年

写真裏面手書きにて「昭和10年色丹島」と記載あり。



色丹郡水産會建物前にて家族写真

【地域情報】色丹島　【作成・発行時期】1937年頃

資料寄贈者の祖父一家。左より2番目は漁港組合組合長を務めた寄贈者の祖父が写っている。

色丹島の植物

シナノキンバイソウ

【地域情報】色丹島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「シナノキンバイソウ うまのあしがた科」と記載あり。
信濃金梅草とは北海道などの高山帯や湿地などに見られ、花はあざやかな黄色である。

群棲する岩梅

【地域情報】色丹島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「シャコタン高山帯の岩うめ群落」と記載あり。
岩梅とは、岩場に生え、花の形が梅に似ていることから名付けられ、花の色は白である。

チングルマ

【地域情報】色丹島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「シャコタン高山に密生チングルマ群落」等の記載あり。
珍車とは、北海道などに分布しており白い花を咲かせる。花が咲いた後に綿毛のような果実がなり、その綿毛が風に吹かれる様子が子供が持つ風車に似ていたことから稚児車（チゴグルマ）がなまってチングルマと呼ぶようになった。

ホテイアツモリ

【地域情報】色丹島　　【作成・発行時期】～昭和初期・戦前

写真裏面手書きにて「ホテイアツモリ」等の記載あり。

歯舞群島の生活

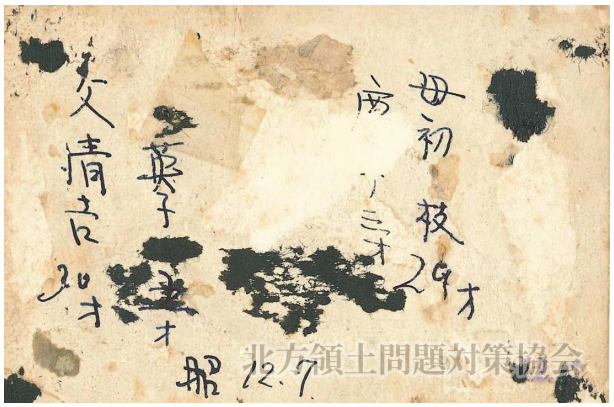
北方領土問題対策協会

北方四島の住宅概観と家族写真

【地域情報】歯舞群島 多楽島　　【作成・発行時期】1937年・1940年

（左）資料寄贈者の生家。

（右）床の間を背に父と赤ん坊を膝に抱いた母と5人の子供たちが写っている。



北方領土問題対策協会

（左）洋装での家族写真
（右）洋装での家族写真（写真裏側のメモ）

【地域情報】歯舞群島 多楽島　　【作成・発行時期】1937年7月

資料寄贈者の父と娘は洋装、母は和装であり、当時の様子がしのばれる。

歯舞群島の教育

多楽小学校生徒教師集合写真

【地域情報】歯舞群島 多楽島　【作成・発行時期】1935年

写真裏面手書きにて「多楽尋常小学校尋常科6年生 昭和10年」と記載あり。

多楽島での大運動会の1コマ

【地域情報】歯舞群島 多楽島　【作成・発行時期】昭和初期・戦前

多楽島の大運動会での集合写真。材木でテントの枠を汲み、中央に日の丸の旗二本を交差して飾り、その前面で30名以上が並んでいる。手書きにて「多楽島大運動会 テントの中は当時多楽島有志達の面々。」等の記載あり。

多楽尋常小学校校庭

【地域情報】歯舞群島 多楽島　【作成・発行時期】1935年

校舎と校庭、丸太で作られた長いブランコと奥に通常サイズのブランコが設置されており、手書きで校長先生らの名前や「S10年 多楽尋常小学校(高等科)」が記載されている。

建物前児童・教師集合写真

【地域情報】歯舞群島 多楽島　【作成・発行時期】昭和初期・戦前

校舎のような木造建物の入口三角屋根の前面で男児90名と男女の教師が並んでいる。

北方領土の産業

缶詰ラベル（カニ／13オンス用）

【地域情報】全島　【作成・発行時期】明治後期～昭和初期

U印(USUI-CRAB) 英文ラベル。明治38 (1905) 年国後島古釜布工場で硫酸紙の使用によるタラバガニ缶詰製造に成功以来、日本発、世界的ブランドとなった。

缶詰ラベル（エビ／4.5オンス用）

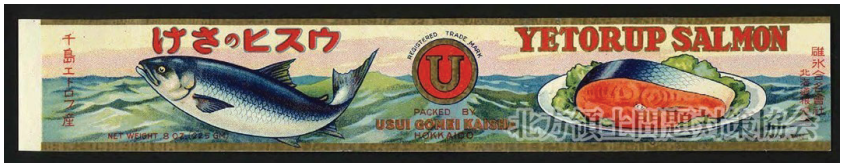
【地域情報】全島　【作成・発行時期】明治後期～昭和初期

U印 (USUI-SHRIMP) 英文ラベル。明治33 (1900) 年のパリ万博にも出展、欧米の食文化を市場に世界的ブランドとなった。THE U BRAND にブランド戦略が見て取れる。

缶詰ラベル（エビ／8オンス用）

【地域情報】全島　【作成・発行時期】明治後期～昭和初期

U印 (ウスヒのえび) 日英併記ラベル。ラベルの意匠にブランド戦略が見て取れる。



缶詰ラベル（サケ／8オンス用）

【地域情報】全島　【作成・発行時期】明治後期～昭和初期

U印 (ウスヒのさけ) 日英併記ラベル。千島エトロフ産／ YETORUP SALMON (エトロフ サーモン) の記載あり。デザインは「缶詰ラベル（サケ／16オンス用）」と同様だがより小さいサイズ。

ここに展示されている缶詰の製造者である碓氷勝三郎商店は清酒「北の勝」で名高い日本最東の酒蔵で、同家は「碓氷家なくして根室・千島は語れない。」と言われるほどの名家。
初代の碓氷勝三郎氏は故郷の新潟から根室に移住後、明治20 (1887) 年に酒造業、続いて明治27 (1894) 年には海産物缶詰製造業に着手し、千島列島での水産業・畜産業等を展開した実業家であるとともに、篤志家としても根室・千島の興隆に尽力した人物。

地元で造られた美味しい日本酒が根室・千島の発展の支えとなっていくとともに、碓氷氏は当時の世界的成長産業としての缶詰製造にも着目した。
碓氷氏は、欧米の食文化を念頭に置き、千島の豊かな水産資源をフレッシュな水煮の缶詰の形で商品化に成功したが、中でも高品質のカニ缶・エビ缶の発明は画期的であった。